

避難は徒歩で持物は最少限に

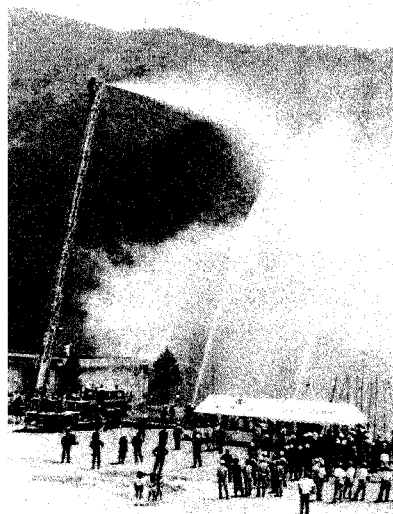
防災の日の九月一日、禾生第一小学校を主会場に、約一、五〇〇人が参加して都留市総合防災訓練が実施されました。

この訓練は毎年行なわれており今回は、消防団、警察署、電報電話局、交通安全協会、自主防災会、婦人会、小中学校、保育園、蛇の目金属工業株などの団体、事業所の参加を得て行なわれました。

小学校、自主防災会、保育園、蛇の目金属工業株などによる避難訓練、電報電話局による緊急電話架設訓練、消防団、自主防災会による消火訓練など、十五種類の訓練が展開され、参加者も真剣な表情で取り組み、見学者も災害に対する認識を新たにしました。

主会場以外でも、いろい

各地で防災訓練



ろな団体で独自に防災訓練が行なわれ、地震などの災害に対する心がまえを養う一日でありました。

東海沖を震源地とする大地震はきつと起きるといわれております。

「災害は忘れた頃にやってくる」ともいいます。

もう一度、防災について家族で話しあいましょう。

大地震の心得

- 一、まずわが身の安全を図れ
- 二、正しい情報をつかみ、余震をおそれるな
- 三、すばやく火の始末
- 四、火が出たらまず消火
- 五、あわてて戸外へ飛び出さない
- 六、狭い道路、へいざわ、がけや川べりに近寄らない
- 七、山崩れ、がけ崩れ、浸水に注意
- 八、避難は徒歩で、持物は最少限に
- 九、協力しあって応急救護
- 十、秩序を守り、衛生に注意する

ふるさとづくり コーナー

盛況だった都留市ふるさとまつり
「芸能のつどい」



▲校庭ですいか割り

好天に恵まれた九月一日、午後一時から谷村第一小学校校庭を会場として、第一回の都留市ふるさとまつり「芸能のつどい」が開催されました。これは、県が提唱しているふるさとづくりの一環であると同時に現在市内各地域に伝承されて



▲今宮神社の神楽

いる郷土芸能を一堂に集めて大衆に披露することにより、忘れ去られようとしている貴重な伝統芸能を復活させ、地域に定着させる意味合いをこめて企画された行事でした。市とふるさとまつり実行委員会が主催し、商工会の後援を得て、数夜にわたる実行委員会において、九団体に及ぶ番組が決定され、当日の公演となりました。

今回の出演団体は、自治会連合会、老人クラブ連合会、連合婦人会、都留青年会議所、八朔81イン、ガールスカウト山梨第十団、生田神社神楽保存会、小野熊野神社神楽保存会、鹿留今宮神社宮下神楽保存会の九団体でした。

さらに、都留米穀小売販売組合による米消費拡大、都留電報電話局のふるさと電話、東京電力の電気

相談、県産の酒、ワインの試飲、即売等の各サービスコーナー開設、商工会加盟店の青空販売などが店開きして催しに花を添えて戴きました。催し物は、一番目のガールスカウトの鼓笛演奏を皮きりに民謡、神楽の舞とプログラムは進み午後四時には望月山梨県知事ご夫妻もおみえになり、ステージ上から市長あいさつにつづき祝辞をくだされたのち、高齢者生き甲斐充実事業を実践している古渡老人クラブ志村代表から県知事夫妻に鉢菊の贈呈がなされました。

このあと都留市民と共に横町囃子などをご覧になったあと、各コーナ―を見物され、米俵かつぎやモチツキをされ、各育成会の子供みこしに拍手を送り、歩行者天国となった高尾町通りの露店を高部市長と見物し夕刻に帰甲されました。盛会のうちに幕を閉じた第一回を契機として、回を重ねるごとに、こうした伝統的文化遺産の伝承が市内全域に浸透し、後世に受け継がれるように全市民が努力していきたいものです。おわりに今回の開催に当り、お骨お頂きました実行委員の皆様方、また、心よく出演を引き受けてくださった老人クラブ連合会をはじめ、多数の皆さまのご協力の賜ものと深謝申しあげます。ごさいます。

これからも、ますます研鑽を積み重ね、第二回、第三回が盛大に企画できるよう、市民一体のふるさと指向を期待いたします。